



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

さわらび

2 **医学** 特集 脳とこころ (生物物質と精神)

◆福祉村病院 長寿医学研究所 名誉所長 堀 映

8 **特集** 障害者の地域生活を支える さわらび会の取り組み

2009
vol.430

2





医学講話

大脳とこころ (生物物質と精神)

福祉村病院 長寿医学研究所 名誉所長

堀 映

一、脳の発生

脳の原型は胎生期の一本の管（神経管）です。内腔の表面に幹細胞が並びます。それぞれが外表にまで長く細胞質を伸ばしており、その中を核が上下運動をし、核が上方にある時に核内でDNAの合成がなされ、核が内腔方向に降りてきた時に核分裂がなされて細胞が増殖します（細胞サイクル）。やがて管が太くなり、その上端は膨らみ、そして左右に分化して脳の原基となります。

二、大脳の形成

脳の原基ができた段階ではもう実質は厚くなり、遠い表面に突起を伸ばす細胞は支持細胞（グリア）として、遊走能力をもつ神経幹細胞（脳

室壁で産生されます）が表面方向に遊走してゆくガイドとなります。

方、皮質表面ではカハール・レチウス細胞と呼ばれる警護役が遊走してくる細胞を待ち受け、リリーリンという物質を出して遊走能力を制御します。そのために遊走を終えた幹細胞はそこで神経細胞に成熟してゆきます。しかし、後から後からまだ若い細胞がやってきます。これらは、さきに皮質に到着して成長過程にある細胞を追い越して、さらに表面近くに出たところで警護細胞のリリーリンに停止されます。このように後輩は先輩をどんどんと追い越して皮質の細胞層が上へ上へと構成されます。（また細胞の横方向への遊走もなされます。）もちろんはみ出し者もあり、停止線を越えて層構造を乱したり、脳表面のグリア膜の隙間をかい

くぐって脳外に飛び出して生き延びるもの、目的地に達する前に遊走をやめてしまつてそこに安住する落伍者（いずれも「異所存在」）もあります。

生育した大脳皮質層構造は領野ごとに異なり、また層ごとに細胞の大きさも形もそして化学組成、従つて働きも異なります。大脳皮質の領野ごとの細胞組成の違いは、運動、知覚、分析などの中枢としての役割分担に意味を持つようになり、また異所存在はそれなりの臨床的（病的）な意味を持つこともあります。発育した神経細胞は私たちと一生をともにしますが、無数の樹状突起と原則として一本の軸索突起を出し、近隣あるいは遠隔の神経細胞と無数の接合連絡を作ります。例えば紙に描いた直径・センチの丸を一つの神経細胞とすると、比率上そこから白メートル先まで伸びるほどの長い軸索突起を出す細胞さえあるのです。神経細胞どうしだけでなく、筋肉や臓器

にも伸びて信号を与え或いは受信するのです。神経単位（ニューロン）のなすこうした複雑な情報交換こそ生命活動の原点があります。

三、大脳の機能分担

大脳皮質が、その領野ごとに機能を分担しているという命題は、正しくもあり、正しくなくもあるのです。マウスで、口ひげの一本一本とそれを動かすための大脳の微小領野がそれぞれ一対一対応することが明らかにされています。これなどは正しい例です。

昔の研究者が、第一次世界大戦戦傷者その他の、脳に損傷・病変を持つたおびただしい症例数から、大脳の機能分担を抽出した模式提案図を示しましょう。こんにち脳梗塞による失語症病変など、これと照合可能なものもあります。しかしさきに述べたように、私たちの生命・精神機能は、大脳皮質各部位とその部分の細胞が、数え切れないほどの部分とつながりあって支配されているも

ので、またこれもひとりひとり違っているため、大脳皮質領野だけに機能分担が決まっているとはいえないのです。その証拠に、同じ運動言語

領野を侵された患者さんでも失語症状が同じでなかったり、さらにそれが機能回復訓練でよくなっていくことが、破壊されて機能を失った部位に替わって機能を代償する神経サーキットを新たに作ることを如実に物語るからです。つまりある機能が単純に一つの皮質領野だけに対応しているのではないのです。

幹細胞移植で破壊部そのものの修復が期待される超近代的治療と同じ効果のある、そしてそれよりも意味深い、病巣は残っているが機能回復を目指す「将来の古典的」治療が現在なされているのです。(ちなみに多国語を語る人の失語症の回復は母国語からはじまるといわれていますが、私が三十数年前に担当した日本在住のドイツ人で日本語・英語も含めて数ヶ国語で貿易を営んでいた

患者さんで、頭部外傷で失ったそれらを同時に回復してきた例があります。)

四、大脳の損傷

ヒトとしての高度の機能を担う大脳(皮質)が部分的に損傷を受けるのは、梗塞、出血、外傷、腫瘍、限局性炎症(ラスマツセン脳炎・ヘルペス脳炎)などの疾患のほか、今では行われなくなった精神外科手術の場合などです。しかし、病変や損傷がごく一部に限られていても、その周辺には病変が生じた直後からそれに対する組織反応(浮腫・炎症・免疫反応などのほか修復も)がはじまり、ひろく周辺に組織変化が広がります。それにしたがって、臨床症状の発現も、(精神現象の)要素的な機能障害でなく、それらのいわば混介状態の症状が露呈するのです。側頭葉や前頭葉に病変をきたせば、場所によっては性格・人格の変化や行動の異常をきたしたりすることもありますし、音楽がわからなくな

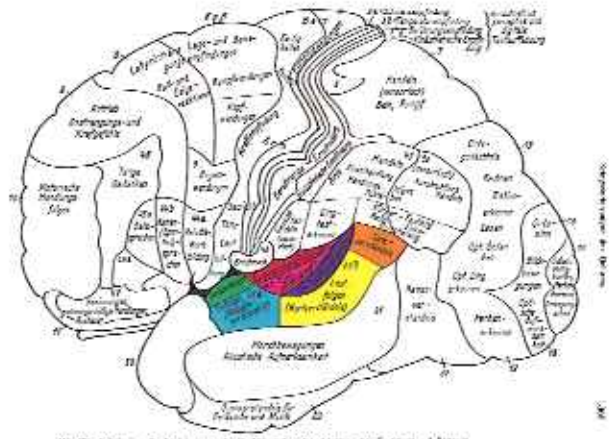
たりもします。後頭葉のある部分の損傷では、ものが見えているのに形や色やその意味がわからない状態や、視野の一部だけが無視されるようにもなります。このように大脳の部分的傷害により、私たちの精神活動が人大きく障害されるのです。これを逆に言えば、私たちの精神現象は、

大脳の機能に負うところが大きいのです。もちろん感情や気分など、大脳の一部の辺縁系と呼ばれる部位や間脳(視床や視床下部)、さらには下部脳幹(橋や延髄)との密接な線維連絡で機能するものもあり、精神現象が大脳だけに支配されているとはとてもいえないのですが。

五、人の「存在」

ここまで脳やその機能を生物学的な面でのみ見てきましたが、人間の精神現象を脳やその組成である物質だけで説明することはしかし危険思想ともいえることです。人間はたしかに生物学的な存在です。しかし同時に私たちは心理的な存在であり、

かつ社会的な存在でもあるのです。医学においてもそれは忘れられてはならないことです。



図説明 ○クライスト(1934)の発表した歴史的な大脳皮質の機能分担地図で、基礎になるのはフロートマン(1909)の大脳皮質の細胞構築図。側頭葉上部の一部を日本語で示す。赤(物音の感知) 緑(連続する物音紫(音の感知) 青(連続する音) 黄(連続する音の理解) 紺(声の感知) 黄(連続する音) 紺(声の感知) 紺(声の感知) 紺(声の感知) 紺(声の感知) 紺(声の感知)

※「音(おん)」= 音楽音
※「音(おん)」= 音楽音
※「音(おん)」= 音楽音

金井芳之先生が

兵庫県リウマチ登録医の会で

講演しました

◆今回（平成20年12月13日（土曜日））、先生のお話になった学術講演会とはどんな集会ですか？

日 本リウマチ学会主催の定例学術集会とは別に全国の各支部別に開催されるリウマチ登録医の単位取得とリウマチ医の研修とを兼ねた学術講演会です。今回は「兵庫県リウマチ登録医の会」でした。

◆お話の内容はどのようなものでしたか？

自 己抗体の過去・現在・そして未来と題して私の水年の研究内容を自由自在に一時間話させて頂きました。講演後に、聴衆の皆さまから、前半の話は専門的で難しかったが、最後のほうで話した所謂アロマ療法とリウマチの話はもっと聞きたかったというご意見を賜りました。最後の話をするかしないか躊躇したのですが、良い反応があって安堵した次第です。自己抗体の話は難しかったとの指摘のように、ここでは紙面の関係もあってそれは割愛します。

先ずここで関節リウマチ（RA）とその治療について少し説明しましょう。

元来リウマチと言えば RA が第一に思い出されるものでしたが、現在は RA はリウマチ性疾患と言われるものの一つに分類されています。しかし罹患数はその他のリウマチ性疾患より遥かに多いのです。病態の特徴は関節の腫れ、痛み、発熱、運動障害、そして最後に関節の変形・破壊が来ます。従って最後は関節外科の世話になるわけです。

ところが近年 RA の病態解明が進み、RA の悪化を阻止出来る薬が開発されたのです。それは生物学的製剤と言われるもので抗体療法です。しかし一方で使い方を間違えると結核などの感染症を引き起こすことが知られています。

その理由は生物学的製剤（レミケードやエンブレル）が作用する標的分子は感染防止など生体防衛に日夜活動している TNF- α というサイトカインだからです。TNF は上に関節内に TNF- α が過剰に産生される病気で、「負」の免疫反応で関節が破壊される訳ですから、この生物学的製剤で TNF の進行は抑えられる一方、隠れていた結核などの感染症が再発するのです。特に高齢発症の RA はその頻度は高くなります。生物製

剤が優れた薬剤であることは万人の認めるものの、実は「諸刃の剣」なのです。しかし、一旦 RA が寛解に入っても生涯生物学的製剤を使用し続けるのは堪え難いところでもあります。生物学的製剤は注射剤で抗体蛋白質ですから、それに対する悪い生体反応が起きる可能性もあるわけです。

◆講演の後半でどんな話をされたのですか？

美 はリウマチ医は内心、次世代の安全な薬剤を期待しているのではないかと思ったりもしているのです。今世界的にみると、伝統的なハーブはもとより植物由来の低分子物質が再注目されているのです。その低分子とはテルペンというものでステロイドやコレステロールの基礎骨格になっ

ているものです。アロマオイル（エッセンシャルオイル）には数えきれないほどのテルペン誘導体が含まれているのです。前述の TNF- α を抑制するヘレナリンや炎症反応の主役であるシクロオキシゲナーゼや5-リポキシゲナーゼを抑制するボスウェル酸やユウカリプトールなどはその一部です。これらは「 α 」で寛解導入出来た RA に維持薬として巧く使えるかも知れません。それどこ

るか最初からテルペン系の薬剤で治療効果が期待出来るかも知れません。薬品として単品化して経口投与はもとより、古典的アロマ療法と共役させ香りを附加して皮膚から浸透させる経皮療法もより安全な治療法になるかも知れません。全身が痛み狂う治療法のない線維筋痛症というリウマチ性疾患には精神の安寧も導き出されるふさわしい治療法になるかも知れません。

◆最後に何か質問はありましたか？

日 本臨床整形学会の理事長先生からの質問は日からうることでした。先生は治療困難な多くの RA で最後は自然治癒した症例を数多く経験されたといわれました。そのような症例では炎症性性のテルペン様の物質が生体内で働いた可能性はないかというものでした。このひとりでテルペン系の低分子物質を人生体内から検出しようとする無限のエネルギー（？）が湧いてきたわけです。

◆この講演のあと何か新しい展望ができましたか？

来 年のリウマチ学会総会で「リウマチ性疾患と新しい治療―テルペン系物質の効用」というシンポジウムを企画することですね。

1ユニット9人ずつの少数生活単位で、明るく家庭的な雰囲気の中で生活していただけます。お部屋には使い慣れた家具類を持ち込んでいただけます。

- 居室 全個室
- 色玉トイレ、エアコン、収納付
- エレベーター、スプリングクラー完備
- 建物 新築木造2階建
- 定員 2ユニット18人

社会福祉法人さわらび会では、平成二十一年三月に「認知症対応型グループホーム白珠(※)」を開業した住宅街で交通至便な豊橋市平川本町に開設します。施設の概要は以下のとおりです。

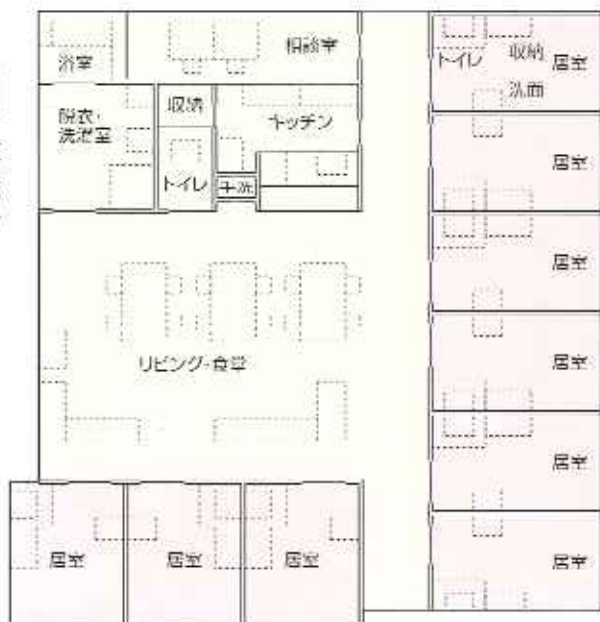
●施設概要

白珠は 人に知られず 知らずともよし
われし 知られらば 知らずともよし



※白珠は万葉集より引用、真珠の意

■ユニット平面図



共有部分
居室部分



ご利用者募集中!!

●ご利用案内

要介護または要支援2の状態となった概ね中程度までの認知症高齢者の方

■利用料

■入居時預り金	150,000円	■介護サービス費自己負担分月額	
■生活費月額		●要支援2、要介護1	24,930円
●家賃	87,400円	●要介護2	25,440円
●食材料費	41,400円	●要介護3	25,950円
●光熱水費	15,800円	●要介護4	26,460円
●教養娯楽費 (実費)		●要介護5	27,000円

■アクセス

[所在地] 豊橋市平川本町1丁目15番地の2
[交通機関] 豊橋鉄道市内電車井原下車徒歩5分



介護スタッフ
募集中!!

■お問い合わせ・申込先
社会福祉法人さわらび会本部事務局
(担当 土井)

☎05332-54-3501

理事長への手紙

みんなの幸せは私たちの夢 それは未来につながる大きな架け橋
理事長への手紙にはそんな夢が詰まっています

夢を語ることの出来ない職場には、未来は存在しないのではないのでしょうか。

さわらび会にお世話になり、みんなの力でみんなの幸せをめざすならば、今を力いっぱい生きることが大切ですが、未来のために何が出来るかを考える必要があると思います。

すぐに大きな花は咲かないかもしれませんが、未来のために、次代のために私たちは種をまき続けたいと思います。

さわらび会は、みんなの力でみんなの幸せを守るために働いておりません。そして、幸せは、自立して自由に生き、まわりの人の役に立つ働きができる時に感じられるものと考えています。

皆様の幸せは、昨日と同じことを今日もするのでは守ってゆけませんから、いつも社会の変化をよく見つめながら、その中で我々は今、何をなすべきかを見出す努力を重ねております。

そこで、新しい年を迎えるにあたって、今後私達はどのように活動すべきかをみんなで考えるために、2004年から毎年、年明けに全職員が、自らの新しい抱負や理事長への要望を書いて、山本理事長への手紙として提出しております。

大変素晴らしい内容ばかりです。で、その提言に基いて、さわらび会は毎年改善を重ねてまいりました。

今までも、職員達の高い学習意欲に応えて、さわらび大学実行委員



●1月17日に開催された新年会

会を立ち上げ、みんなが学びたい事柄を、皆さんが希望される講師によって実施することといたしましたし、職員の皆さんが希望される学会や研究会への出張も大幅に増えてきました。

また、同じ時期に、さわらび会の中で働いていても、職場が違おうと全く交流のない状況を改めるために、ソフトバレーボール大会や忘年会、

新年会などを、職員自らの企画によって実行し、交流を深めながら楽しい時間を一緒に過ごすことができるようになりました。

2009年も、多くのご意見やご要望が寄せられましたので、一部ご紹介したいと思います。

①障害者・高齢者の雇用促進

百年に一度の大不況の中で、障害者や高齢者の雇用が大変な危機を迎えております。

そこで私達は、無農薬野菜の栽培とその販売を、今年からぜひ実現させたいと考えていますので、ぜひ、皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

②職員採用プロジェクトチームの立ち上げ

失業者が多く出る中で、優れた人材を多く採用するために、職員採用プロジェクトチームを立ち上げて、ご利用者の幸せを守りやすくしてゆきます。



お知らせ



2009年行事予定

- 入社式 3月23日(月)
- 夏休み親子福祉体験 8月8日(土)
- 働く親の姿を見る会 夏休み期間中
- 福祉村文化祭 10月31日(土)



さわらび大学再開のお知らせ

4月よりさわらび大学を再開いたします。
さわらび大学は、参加費無料でどなたでも受講することができます。多くの方のお越しをお待ちしております。尚、講座の内容は、みなさまの希望により決めたいと思いますので、下記問合せ先までご連絡ください。

●さわらび大学の開催

時間 4月～11月の第2、4木曜日
午後3時～4時

会場 福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座内容が変更になる場合もございますのでご了承ください。

●問合せ・受講申し込み

軽費老人ホーム若菜荘
☎0532-48-1138 ☎0532-48-2365



軽費老人ホームの二人部屋でいきいき生活

今まで軽費老人ホームの二人部屋を利用できたのは60歳以上の者と60歳以上の配偶者とともに利用する配偶者に限られていました。しかし昨年6月1日に制度が変更となり配偶者のほかに三親等内の親族、たとえば親子、兄弟などその他特別な事情により当該者とともに入所していただくことが必要と認められる者、に利用できる範囲が広がりました。あなた達も軽費老人ホームの二人部屋で暮らしてみませんか。

詳しくは軽費老人ホーム若菜荘に問合せください。
☎0532-48-1138

③さわらび大学の運営改善

聞きたい講義が受けられないことも多いとのことです。希望される職場へは、日時を変更して、講師の出張講義もお受けいたします。

④働く親の姿を見る会

非常に好評でしたので、今後も続けてゆきますので、ぜひ多くの子供

さんのご参加をお願いいたします。

⑤福祉教育

ますます厳しくなる少子高齢化の社会では、子供達への福祉教育は非常に重要ですので、親子福祉体験や職場実習のお子さん達には、ぜひ感想文をいただいて、福祉作文コンクールとして、優秀作品を、福祉村文化

祭で表彰してゆきます。

⑥福祉村病院の認知症対策

すべての職場で、認知症についての研究を行い、様々な学会や研究会で発表してゆきたいと考えています。また、最近では若年性認知症の相談が多くなってきましたが、若い

我々も若年性認知症の方々を、どのように支えてゆけばよいのか、その研究と支持体制の確立を目指してがんばってゆきたいと考えております。



障害者の地域生活を支える さわらび会の取り組み

障害者の地域生活を支えるためには、さまざまな支援が必要となってきます。今回は、実際に地域で生活されている方の現状と課題と、さわらび会がどのように地域生活を支えているかを紹介したいと思います。

●障害者の地域生活移行への取り組み

障害者自立支援法では、障害者を持っている方も住み慣れた地域でいきいきと生活ができることを目指しています。人所施設では、地域生活を希望する方を、地域で暮らせるよう支援していく取り組みがあります。

昨年10月1日、あかね荘は従来の知的障害者入所更生施設から新法における施設へと移行し、障害者支援施設となりました。この移行に伴い大きく変わったことは、昼夜・貫のサービス提供が、生活介護（日中部分）と施設入所支援（夜間部分）という二つのサービスに分離ができるようになったことです。そのため、今まであかね荘に入所されていた方でも、就労に向けた訓練がしたいという希望があれば、日中は地域にある就労支援を行う施設に通い、夜間はあかね荘の施設入所支援を利用する事ができます。逆に日中はあかね

荘の生活介護を利用し、夜間は地域にあるケアホームなどの共同住宅で過ごすという様に、本人のニーズに合った地域生活が出来るようになりました。

今まであかね荘から地域移行された利用者の方々は、退所後はそれまで住み慣れた場所を離れ、一から暮らし場所を作り、さらに日中通う場所を作らねばならず、施設との関係がとぎれた結果、環境変化によるストレスにさらされ、精神的不安定や体調不良に繋がる事がありました。それが、日中活動は慣れたあかね荘に通って頂き、夜間は生活感あふれるケアホームで生活することで、環境の大幅な変化に対するストレスを軽減し、地域での新しい生活が出来るようになりました。

このように、ケアホームと日中活動の場である生活介護事業所や就労系の事業所、そして余暇支援として居宅介護（ホームヘルプサービス）などを利用することで、一般就労の

難しい重度の方でも地域での生活を実現する事ができるようになってきています。



●夜はケアホームでくつろぎながら食事をとられています。

●障害者雇用の現状と課題について

障害者の地域生活を支えるうえで、就労支援もとても重要になってきます。しかし、昨半夏以降の景気の悪化は、現在一般企業で働いている障

障害者の就労支援の仕組み

1 就労に向けての職業訓練

- 就労移行支援事業等(明日香 等)

2 職能判定、仕事の斡旋

- ハローワーク、地域障害者職業センター

3 就労定着への支援・就労相談

- ジョブコーチ派遣(あかね荘 等)
- 障害者就業・生活支援センター

害者や就労を目指している障害者の方々に大きな影響を与え始めました。ハローワークでは、職を求める一般の人や外国人で溢れています。障害者への求人も少し前までは多くあり、色々な職場を見学・体験できたのですが、今では手のひらを返したように減っています。今までは、企業も教えながら時間をかけ、温かい眼差しで迎えてくれていたのですが、一般労働者並みに働けて理解力があり、即戦力となる人材を求めてくるようになりました。

理解すること、判断することに時

間がかかり、また人との関わりが苦手な知的障害者にとって、そのような要望に応えられる人材は限られ、就職が難しい状況になってきました。

また、すでに就職して働いている方にも、厳しい状況が迫っています。同じ事業所内で働いている一般労働者が、雇用調整で退職を余議なくされている中、ハンデがありながらも就労できることに対し、周囲の理解が得られにくかったり、職場の整理縮小のため作業所が閉鎖され、解雇されてしまった方もいます。

このような厳しい状況の中、いかに障害者の働く場所を提供するか、そして就労の機会をどのように守っていくかが大きな課題となっています。そのためには、ハローワークなどの外部機関と、その方が生活されているケアホーム、就労のための訓練を実施している就労移行支援事業など、各事業所間の連携が求められています。

●さわらび会における地域生活を支えるための連携

●働く場の提供

さわらび会では、障害者雇用を先駆的に取り組んでおり、福祉村のクリーニングセンターでは十名の知的障害者が元気に働いています。他にもさまざまな施設、職種で活躍しています。

●働くための訓練の場の提供

また、一般企業への就労に向けて知的障害者が老人施設で廊下掃除を行ったり、身体障害者施設では知的障害者が人形着の洗濯する実習を行うなど、施設以外で働くための訓練の場を提供しています。

このように各事業所が連携することにより、将来の地域移行に備え、一般企業に就職活動出来る体制を整えています。

●本人支援

そして、本人たちへの精神的なケアについても多くの支援が必要です。

働く障害者のために、ジョブコーチや相談支援ワーカー、ヘルパーが協力して、相談支援、買い物やレクリエーションなどの余暇支援など、気分転換を図ることで仕事や地域生活が継続出来るように支援しています。今後も、さまざまな制度や事業を活用し、利用者により良い地域生活を実現できるよう努力してまいります。



●身体障害者施設での洗濯実習



[夢へ向かって]

2009年の始まり。

GP2アジアシリーズ第3戦。「夢を持つ喜びや夢を叶える楽しさを知ってもらいたい」
「考える」という事が大事なんだと語った左近選手。
2009年がいよいよスタートした。

2009年の始まり

忙しい合間をぬって英気を養った年末年始、2009年左近選手の一年がスタートした。

今年初めての舞台はバーレーンのサケヒールにあるバーレーンインターナショナルサーキット。左近選手は日本↓タイ↓ドバイ↓バーレーンと経由し、22時間の長旅をかけて現地に到着。

初戦開始

1/22(木)に始まったフリー走行、そして公式予選。公式予選では7番手につけ、上位を狙える。まずまずのグリッドを確保。

翌日、2009年の初戦開始。しかし、スタートで不運が左近を襲った。なんと上海と同じくシステムエラーで発進できない。ピットに入って何とかスタートを切ることができたが、先頭とはほぼ1周の大きな差がついてしまっていた。途中、ファステストラップを記録するがんびりを見せたが、結局17位。

24日の第二レースは、16番グリッド

ドからのスタート。左近選手は持ち前の粘り強さでブツシュを続けたが、ベースの遅い車の集団に引っかけたり、かなりのタイムロス。何とかその集団をパスし、上位集団を凌ぐペースで猛追。しかし、ポイント獲得も射程圏内に入り、これからというところで、レース終了。結局、11位でフィニッシュ。レース後左近選手は、「結果は厳しかったが、マシンの潜在能力が高いことは、今日のレースでもよく分かった。」と語り、次戦カタールで開催されるナイトレースに雪辱を誓っていた。

夢を持つということ

左近選手は、レースへの想いだけでなく、子ども達に対して、夢を持つことが大事だとの想いを強く感じている。

レースに臨む前、ブログで左近選手は未来ある子ども達にこんなコメントを残している。

「何よりも、「夢を持つ喜びや夢を叶える楽しさを知ってもらいたい」という思いが僕も前々から強かったので、僕の中で子どもた



ちに何か自分ができることはな
いか?と思いました。以前Q&A
と題したブログでも書きましたが、
自分で自分の可能性を否定して
しまうなんて、絶対してほしくな
いと常々思っています。それは小
さな子どもに限らず、ご高齢の方
も含めて、すべての人に対してそ
う思っています。確かに、辛いこ
とや、自分だけの力じゃどうしよ
うもない状況に陥ることもある
でしょう。でも、夢をもって、前へ
進んでいく。その夢が現実に叶っ
たり、叶わなかったりっていう結
果は、後からついてくる別の話だ
と思うし、それよりも、夢へ向かっ
て進んでいくというプロセスや
それに「絶対に付随する『考える』
という事が大事なんだと、僕は思っ
ています。」

(中略)

奇麗ことばかり言っつもりも
ありませんし、自分もまだまだ未
熟で成長段階な人間だと思っ
ていますが、少なくともここ15年間
は、僕は僕なりに夢を見て、考え
調べて、行動して、頑張っ、結果
があって、良かったら次のステッ
プへ向けて考えて、悪かったら何

Sakon's News

今回のレースから、2009年最初の
レースということで、ニューヘルメッ
トでレースに挑んだ左近選手。メー
カーはもちろんアライヘルメット。今
年からレギュレーションによりGP2
もF1と同じカーボンヘルメットが義務化されています。
ちなみにステッカーは、左近選手が自ら貼りました。



【バーレーン】
サウジアラビアの東、ペルシヤ湾内にある
群島。マナマ近郊にサーキットを建設し、F1
開催の誘致に成功。2004年からバーレーン
GPを開催している。



が問題だったかとまた考えて、と
いうサイクルをずっと小学生の
頃からしてきたので、少しは伝え
られる事があるんじゃないかと。」
左近選手は子ども達に対して
もこんな熱い想いを持っている。

俳句浪漫

直筆の書で 季節を彩る

シユテム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



逝く歳も

来る歳もなく

猫きまま

いうまでもなく一年は「あけましておめでとう」で始まり、「よいとしを」で締めくくられる。そして年が明けると瞬く間に一月（睦月）が過ぎ、東の間のうちに桜の季節となる。一年は閏年を除いて三六五日と決まっている。最近、一年はひとつの単位であり短いのが当たり前であることに気づいた。気づくのに遅すぎた訳でもなく、早過ぎた訳でもない。そんなはかない刹那であっても、世相に関わらず新年はすがすがしく感じ、年末は慌ただしく感じられる。これに対して動物は羨ましい。とりわけ猫は格別である。自分（？）本位で気ままであるから。定かではないが、下支の十二獣の順序を決める会議の時、猫は最後の十三番目に到着したために十二の干支から漏れたという。それでも支障なく（？）暮らせるから猫は羨ましい限りである。生涯で一年くらい猫のような暮らしが出来たらなあと思ったりもする。

逝く歳も

来る歳もなく

猫きまま

芳之

さわらび会の

英会話教室

Let's study English

昨年、インドネシアからの看護師介護士受け入れ決定のニュースがあり、医療や福祉の現場にもグローバル化の波が押し寄せてきています。

さわらび会には福祉村病院を中心として多くの福祉施設があります。今後、これらの病院や施設でも海外からの職員と共に働く可能性がありますが、職員同士での「コミュニケーション」をスムーズに行うために、さわらび会では英会話にも力を入れています。現在週に2回英会話教室を開催し、施設長を中心として英会話に興味のある職員が、小中学校で英会話を教えているアメリカ人の先生から教わっています。笑いの絶えない楽しい英会話教室になっています。





第31回

いかり先生の
”お遍路さん“

— 四国八十八ヶ所霊場めぐり —

●愛媛県「菩提の道場」へ

福祉村病院副院長 伊莉 弘之

親身になって言ってくださった住職の忠告を無視して、台風を恐れずに我々は先に進んだ。仏の加護を信じて無事に帰れることを祈って「菩提の道場」である愛媛県へ向かった。

第二十九番延光寺から第四十番平城山観白^{へいしやうざんかんじ}在^{ざい}寺^じまで二十キロ、通常は徒歩で八時間、車で

一時間。台風による風は弱まってきたが雨はどしゃ降りだ。

愛媛県

御庄町の町中の高台にある観自在寺の仁王門まで石段を登る。大きな門だ。正



面に立派な本堂が見える。観自在寺は平城天皇の勅願によって弘法大師が開基した。木尊の薬師如来と脇仏の阿弥陀如来と二面観音を刻んだ。仁王門から本堂へ向かう途中に、十二支の守り本尊である菩薩の石像がずらりと並んでいた。しかし参拝者は我々だけである。

境内の隅に平城天皇の遺髪が埋められている五輪石塔が建っていた。その横に芭蕉の句碑があった。「春の夜や籠人ゆかし堂のすみ」。

「今日の宿になんとか着けそうだね。良かったね。」と中一の娘。「本堂に良かった」と母。台風は北東に進路を向け速度を速めながら四国を抜けようとしていた。

Vol. 13
relay column
さわらび会
のわ

村さわらび会 本部事務
土井 裕次郎

清新な春に逢えるのもう間近。春爛漫よりも、早春の風景が好きなのは私だけでしょうか。

春の訪れへと誘うのは、寒風にもなお紅白の可憐な花弁を凍と保つ梅花です。

春と言えば桜花を好むのが日本人の常ですが、中国では梅の方に人気があるようです。それは、長く厳しい冬を耐えに耐えてようやく花開く希望の光を梅花に見出すからでしょう。ただ日本でも平安時代より前は、「花」といえば梅を指すことが多かったようです。

梅には一百種以上の品種があり、野梅系、紅梅系、豊後系の三系統に分類されます。梅の実を採るのは上に豊後系たそいで。

梅の別名に、春告草、木の化、春散草、風待草、好文木などがあるのも趣があつておもしろいものです。

桜花の草やかさと潔さにも文句は言いませんが、それよりも梅花のひたむきさと粘り強さに惹かれます。

以前、東京都青梅市の古野梅郷の梅と出逢う機会がありました。同市にある古川英治記念館を訪れた際と記憶しています。

梅花に接しながら、文豪がよく使った「我以外皆我師」という名言を思い出しました。

一番先に春の息吹を喚起してくれる梅たちに、今年も惜しみない拍手を贈りたいものです。

次回は、福祉村保育園園長 竹内佐枝子さんです。

◆福祉村病院・シユケム

- 12月18日 施設長会議(志「さわらび」に理事長出席)
- 橋詰先生によるCPC(理事長出席)
- 20日 医療法人さわらび会忘年会(出席機)に理事長出席
- 21日 山本ゆかり氏医療法人さわらび会の副理事長に就任
- 24日 豊橋みなとライオンズクラブ例会に理事長出席
- 25日 学童保育開始
- 29日 年木大掃除チエックにて理事長が院内を巡視
- 1月5日 理事長年頭の挨拶

◆さわらび荘

- 12月16日 介護リーヒス情報公表調査(居宅介護支援事業所)
- ケアマネ明修(浅見 ライフホートとよはし)

◆第二さわらび荘・カサデローザ

- 17日 さわらび荘忘年会
- 18日 餅つき
- 22日 介護リーヒス情報公表調査(さわらび荘・アイサービス)
- 24日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会全国人会実行委員会(施設長 泉社協)
- 25日 介護認定審査会(施設長 市役所)
- 1月5日 理事長先生の年頭の挨拶(さわらび荘にて)
- 8日 ケアマネ相談窓口(浅見 名古屋)
- 13日 愛老協施設長会議・施設長研修(施設長 泉社協)
- 14日 地域包括支援センター事務担当者会議(上井・本江 市役所)
- 15日 介護予防教室(松ト・浅見 西川惣の家)
- 16日 愛知県グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(施設長・村田・白井有 あいトピア)
- 19日 介護給付費審査会(施設長 市役所)
- 22日 認知症予防グループ活動見学(松ト 吉陵地区市民館)

◆第二さわらび荘・カサデローザ

- 12月16日 平川町認知症対応型グループホーム現地打ち合せ
- 19日 軽音・ケアハウス研修会(奈良施設長 名古屋)
- 22日 愛老協役員会(山本施設長 名古屋)
- 25日 社団全国老協協定会(山本施設長 東京)
- 認定審査会(長坂 豊橋市役

◆珠藻荘

- 1月8日 社団全国老協協正副会長委員長会議(山本施設長 東京)
- 13日 愛老協施設長会議・施設長研修(山本施設長 奈良施設長 名古屋)
- 12月16日 障害者相談支援研修(施設長 東三河事務所)
- 17日 自治会
- 26日 クリスマス忘年会
- 1月7日 餅つき
- 8日 自治会役員会
- 14日 サービス管理責任者研修(田中 名古屋 9日)
- 15日 新年祝賀会
- 16日 障害者施設給食担当者研修(畔柳 名古屋)

◆若菜荘

- 12月16日 泉老協軽音ケア研修(施設長 名古屋)
- 18日 豊橋保健所巡回指導
- 19日 忘年会
- 22日 愛知県老協役員会(施設長 名古屋)
- 23日 誕生会
- 25日 餅つき
- 1月5日 各階別会議・食生活会議
- 8日 初詣
- 9日 鏡開き
- 13日 愛知県老協施設長会議(施設長 名古屋)

◆あかね荘

- 12月16日 埋容奉仕(浅倉さん・浅倉さん送別会)
- 23日 ラーメン書の家招待
- 24日 クリスマス会
- 25日 施設長・支援スタッフ会議(施設長 名古屋)

◆明日香

- 26日 餅つき
- 31日 家族会役員会・総会
- 1月5日 冬期帰省開始
- 7日 忘年会
- 8日 冬期帰省終了
- 13日 援助会議
- 1月20日 感染症対策会議
- 25日 サービス管理責任者研修(中陳・高橋 名古屋 9日)
- 27日 サポート協会役員会(施設長 名古屋)
- 1月8日 利用者冬休み(1月4日)
- 9日 サービス管理責任者研修(林 名古屋 9日)
- 12日 自治会
- 14日 家族会
- 1月22日 デンソーにてクッキー販売

◆しろがね

- 12月22日 IFM合唱団による音楽サークル
- 1月6日 学童保育開始(1月6日まで)
- 9日 さなえ会のおやつ奉仕
- 12日 成人の祝い
- 1月9日 TFM合唱団による音楽サークル新春茶会

◆各施設共通

- 12月17日 支援センター合同会議
- 18日 施設長会議
- 19日 障害者相談会議
- 25日 共済組合担当者会議
- 1月9日 施設長会議
- 13日 福祉村クリン運動
- 15日 在宅医療福祉部会議

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成20年12月15日～21年1月14日

市内王ヶ崎町字上原1-85	塩野年昭氏	10,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内人舟町21	株式会社 三恵薬品	20,000円
市内大清水町字富士見804-1	㈱松谷建設	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷㈱	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井真治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内壹町30	㈱中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内岡屋町15-5	㈱スズケン	10,000円
市内東田町154	㈱竹田商店	10,000円
市内飯村北二丁目26-16	㈱滝川器械店	10,000円
市内東鷺三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス㈱	10,000円
市内神野埴原町2	神野臨海㈱	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
新城市南畑74	光田屋㈱	10,000円
市内野依町山中19-14	医療法人さわらび会 理事長 山本孝之氏	100,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	4,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	5,136円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
計 285,136円
現在までにご寄附いただきました金額は
823,272,308円

浅倉さん二十六年間、 ありがとうございました

・障害者支援施設あかね荘

あかね荘開所当時より、荘内にて行われていた理容師の浅倉有雄さんによる、利用者の方への理容奉仕が、昨年末をもって終了しました。二十六年間ご奉仕下さった浅倉さんよりコメントを頂きましたので紹介します。



●散髪する浅倉さん

あかね荘が開設される際、当時の井川施設長より、施設の人たちの散髪を頼まれました。皆さんが喜ぶなら、理容奉仕をしてみようと思いました。はじめは、散髪を嫌がる人がいて大変なこともありました。今では髪を切ったあと「さっぱりした」と喜んでくれ、やってよかったと思いました。

また、浅倉さんより理容道具のご寄付もいただきました。長い間ありがとうございました。

インド福祉村協会寄附ご芳名

平成20年12月11日～21年1月10日

大阪府岸和田市宮本町28-22	薬師院 阿字観教室	5,000円
大阪府岸和田市小松里町947-7	小野剛賢氏	3,000円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,500円
愛媛県松山市南樹本町511-1	大澤ツキ子氏	1,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
豊明市西川町笹原22-6	奥田良一氏	40,000円
静岡県浜松市北区初生町242-1	河島一美氏	1,000円
三重県津市久居二ノ町1833-5	鈴木美佐氏	3,000円
静岡県浜松市西区湖東町1487-5	松下正男氏	3,000円
静岡県浜松市三方原町1721-2	袴田トミ子氏	3,000円
静岡県浜松市中区高丘北1-65-33	今泉すみ子氏	3,000円
静岡県浜松市東区玉台四丁目168	川中美羽氏	3,000円
	匿名希望氏	40,000円

計 158,500円

募金方法(インド福祉村)

■振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
■連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

* お礼コーナー ありがとうございます *

- ※印は専情共銀行を通して
- ▼愛知県地域婦人団体連絡協議会 絆の物語はっけん寄附 (秋葉荘・あかね荘)
- ▼市内各寺院様 お願※(あかね荘)
- ▼善の家様 ラーメン食事招待※(あかね荘)
- ▼豊橋善意銀行様 カレンダー寄附 (若菜荘・珠蔭江)
- ▼浜松・東三河フェニックス様 b・リーグ招待券※(明日香)
- ▼神藤製糖株式会社様 年越しそば寄附※
(さわらび荘・第二さわらび荘・珠蔭荘・あかね荘・若菜荘)
- ▼ナカノフード建設株式会社様 クリスマスクーキ寄附
(さわらび荘・第二さわらび荘・珠蔭荘・あかね荘・若菜荘・明日香・しるがね)

成人おめでとう ございます

さわらび会では、18名の職員が今年成人を迎えました。ケアホームで暮らしながらあかね荘で支援員の補助として働く中村里織さんが、成人を迎えての抱負を寄せてくださいましたので、紹介させていただきます。

中村さんは、医療ケアホームやあかね荘で食事の介助をはじめ、トイレの介助、掃除、布団敷きなど意欲的に取り組んでくれています。今後の活躍を期待しています。

私があかね荘で働いて1年がたちました。最初は、利用者さんに声をかけることが出来なくて戸惑いました。今は自分からお話できるようになりました。仕事の内容はいろいろあります。私は4月からヘルパー2級の資格をとりに行きます。これからはいろいろなことに挑戦したいです。



写真 ● 鬼まつり(豊橋市)・花まつり(雨栄町)
 経馬 ● 早川さよ(若菜社)

編集後記

「百年に一度」、「未曾有」とも表現されている今日の経済危機。障害者や高齢者の雇用にも影響が出てきています。今回、そうした現状と、さわらび会として何ができるのかを、掲載させていただきました。みんなで様々なアイデアを出し、何とかしようと考えています。すぐに結果が出るとも思いませんが、オバマ氏が、第41代米大統領に就任し、未来や夢を感じられるようになったアメリカのように、私達の取り組みも未来や夢を実感できるようにしたいと思います。今こそ、みんなの力でみんなの幸せをめざして

(武山)

「表紙絵 今泉照雄『さわらび』」

充実した医療と福祉
みんなの力でみんなの幸せと

社会福祉法人 さわらび会 代表 山本 幸之

- 特別高齢老人ホーム さわらび荘
 会(0532) 54 3501
 法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ
 会(0532) 37 1209
- 高齢老人ホーム 若菜荘
 会(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠蔭荘
 会(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかぬ荘
 会(0532) 48 2825
- 福祉村病院
 会(0532) 46-7511
- 障害福祉サービス事業所 明日香
 会(0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
 会(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東四町)
 会(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
 会(0532) 38 9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
 会(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
 会(0532) 46 7501
- 田原市障害者生活支援センター(中環4)
 会(0531) 45-3828

さわらび
 2009年2月1日発行 早版 券430号 毎月1日発行
 (昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
 編集責任者 武田和敏 E081 ● 共和印刷所 定価・100円